

栄東地区 【福祉のまち推進センター】

映像で学ぶ特殊詐欺被害防止 ～福まちふれあいお食事会～

令和6年10月16日(水)、地域に住む一人暮らし高齢者と福祉協力員の交流活動の一環として「福まちふれあいお食事会」を開催しました。日の丸会館を会場に第1部・第2部に分かれて開催し、合計109名(スタッフ・来賓含む)の方が参加されました。

前半は警視庁作成の「STOP詐欺被害」のビデオを上映し、日々増加している特殊詐欺被害の防止について学びました。実際に起きた還付金詐欺被害などの事例を通して、留守番電話設定や自動録音装置の設置などの具体的な対策を知る機会となりました。

後半は東区介護予防センター栄・丘珠のみなさんの指導のもと、タッピー体操を行いました。最後には脳トレ

効果も兼ねて早口言葉にも挑戦し、参加者のみなさんで頭と体の健康増進に取り組みました。

感染防止に配慮して、昨年同様に会場での食事は行わず、福まちスタッフからのメッセージが添えられたお弁当を持ち帰る形式でのお食事会となりました。様々な工夫を凝らし、地域のみなさんが安心して楽しめる催しを企画・開催していきます。



元町地区 【福祉のまち推進センター】

認知症の方の搜索方法と発見時の対応を学ぶ 「認知症高齢者徘徊搜索模擬訓練」

令和6年10月10日(木)、認知症の方が街で困っている場面を想定し、対応方法などを考えることを目的として、認知症高齢者徘徊搜索模擬訓練を開催し、元町会館周辺の民生委員、福祉協力員など計15名ほどが参加されました。

講義と搜索訓練の2部で構成され、講義では、まず東警察署生活安全課の方から札幌市徘徊認知症高齢者SOSネットワークについてお話をいただきました。その

後、東区第2地域包括支援センター職員を講師として、認知症の理解や、認知症の方への接し方を学びました。

後半は、地域の方2名に徘徊者役となっただき、会館周辺で実際の搜索、発見した後の声掛け、対応の訓練を行いました。訓練後はグループワークを通じて振り返りを行いました。

認知症高齢者が行方不明になった件数は、令和5年(札幌方面のみ)で358件あり、東警察署での認知症高齢者の行方不明件数は45件(うち43件発見)となっています。少子高齢化の進行に伴い、認知症の方はこれからも増加の一途をたどります。認知症を正しく理解することで、地域で認知症とともに暮らしていくための、きっかけとなりました。

